

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	旭区
学校名	太子橋小学校
学校長名	狭間 雅夫

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・太子橋小学校では、第6学年 66名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語、算数、理科の3教科とも全国・大阪市の平均を上回っていた。平均無回答率についても全国平均・大阪市平均を下回っていた。領域別では、国語科では、「書くこと」以外の平均正答率は、全国・大阪市の平均を上回っていた。「書くこと」では、大阪市の平均を上回っていた。算数では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」は全国・大阪市平均を超えていたが、「図形」「測定」は全国・大阪市の平均を下回っていた。理科では、4領域中3領域、全国・大阪市平均を超えていたが、「エネルギー」を柱とする領域では、全国・大阪市平均を下回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕昨年度まで国語科で自分の思いを伝え合うことをねらいとして研究を行ってきた。その結果、「話すこと・聞くこと」については高い結果となった。「書くこと」については、今後も学校全体で取り組んでいきたい。

〔算数〕今年度から算数科の研究を始めた。「数と計算」「変化と関係」「データの活用」については高い結果となった。しかし、「図形」「測定」については全国・大阪市を下回った。具体的な操作を大切にした授業を進めていきたい。

〔理科〕おおむね高い結果となった。特に「地球」を柱とする領域では全国・大阪市を大きく上回った。しかし、「エネルギー」を柱とする領域では低い結果となった。身の回りの生活と比べながら授業を進めていきたい。

質問調査より

「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、肯定的評価がほぼ100%となっている。家庭的には落ち着いているといえる。「自分には、よいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対しては、最も肯定的な評価が全国、大阪市と比べても高かった。自己肯定感や自己有用感は高いと思われる。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」については、最も肯定的な回答が低かった。「どんな理由があってもいけない」ことだという指導を今年度重点的に行っているが、引き続き指導を行っていきたい。

今後の取組(アクションプラン)

「チーム太子橋」として全教職員で課題を共通理解し、同じ思いをもって、きめ細かい丁寧な教科指導を今後も行っていく。さまざまな教科で「主体的・対話的で深い学び」の構築に向けて話し合いによって、自分の考えを広げたり、深めたりできるような活動を意図的に取り入れていく。引き続き、自主学習ノートやICTの活用を進め、基礎・基本の定着、自ら学び続ける態度を育てていく。「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対する肯定的な回答は大阪市平均・全国平均を下回っていた。今後も「わかる・楽しい授業」を行うとともに、学級活動や特別活動などの通して、達成感や成就感を味わう場を増やし、子どもたちが「楽しい」と感じるような学校づくりを進めていきたい。

【 全体の概要 】

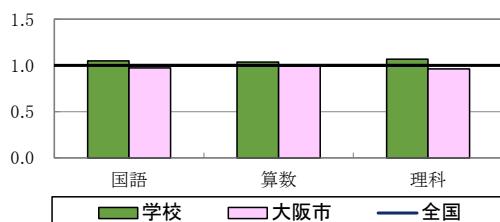
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	70	60	61
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

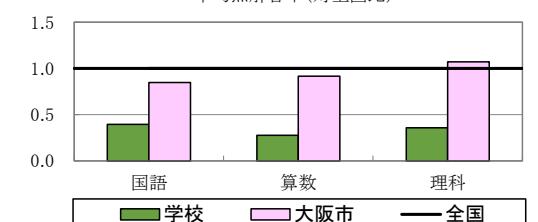
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.3	1.0	1.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



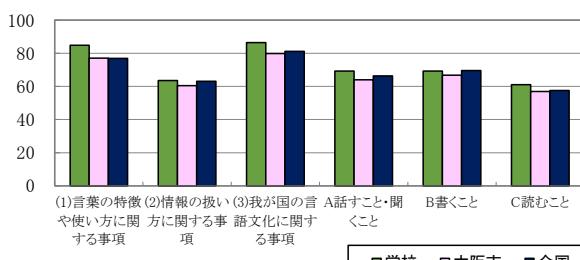
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	84.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	63.6	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	86.4	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	69.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	69.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	61.0	56.9	57.5

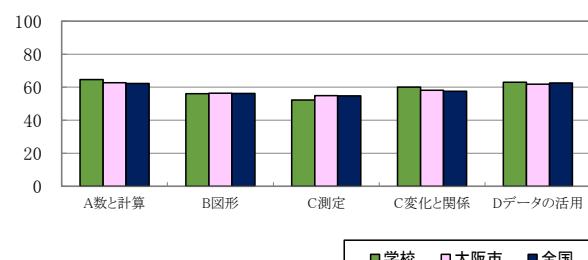
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.6	62.7	62.3
B 図形	4	56.1	56.4	56.2
C 測定	2	52.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.1	58.2	57.5
D データの活用	5	63.0	61.9	62.6

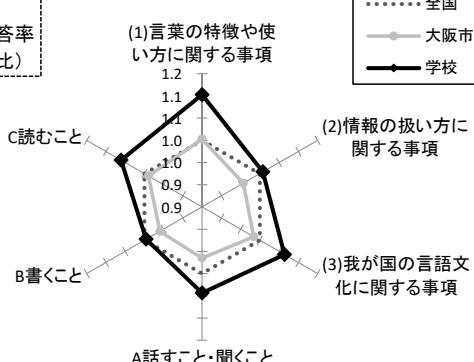
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



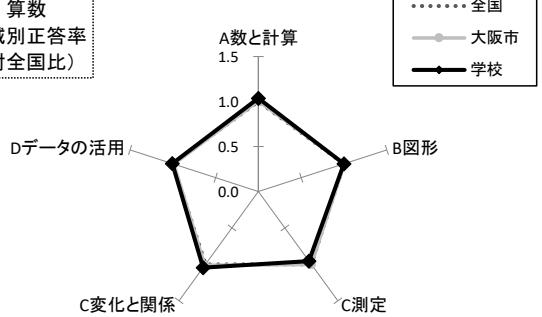
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率(対全国比)

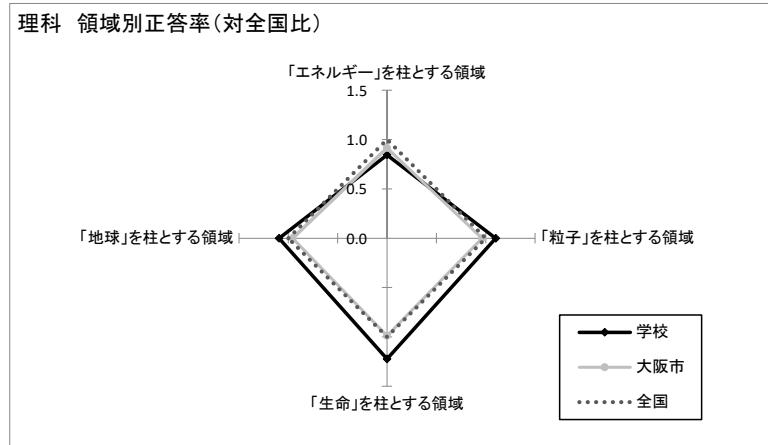
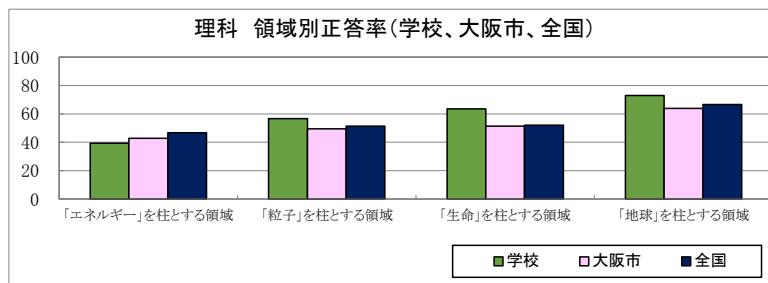


算数 領域別正答率(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.4	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	56.6	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	63.6	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	73.0	63.8



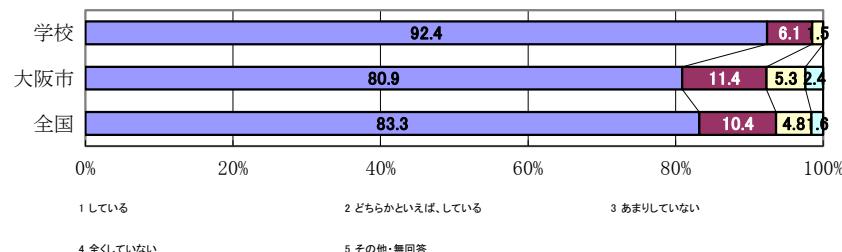
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

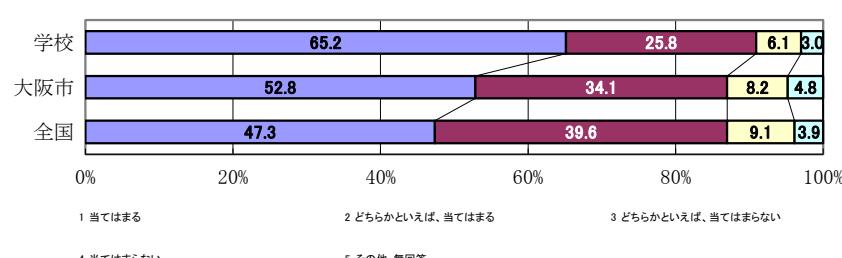
1

朝食を毎日食べていますか



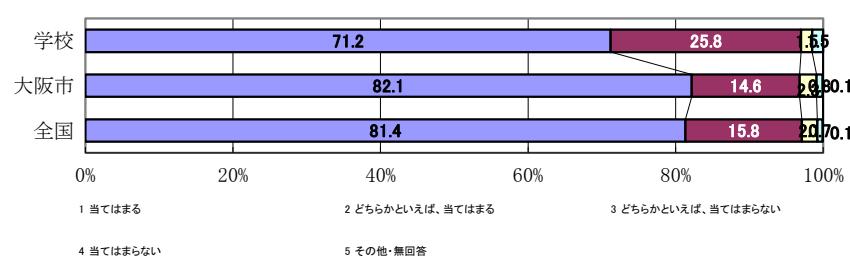
5

自分には、よいところがあると思いますか



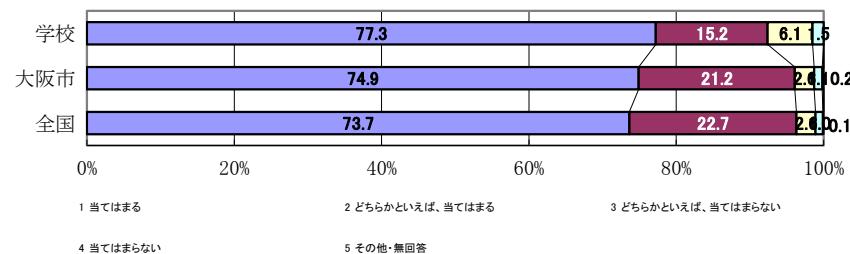
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



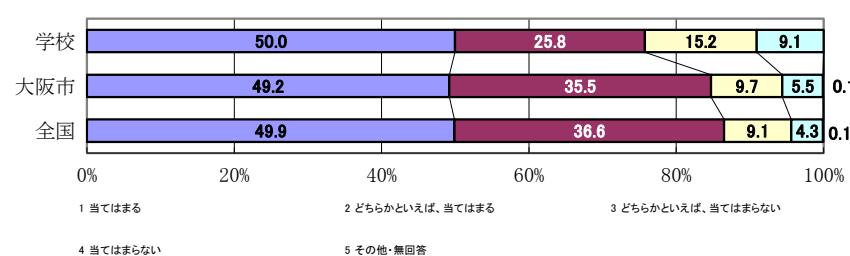
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



学校質問より

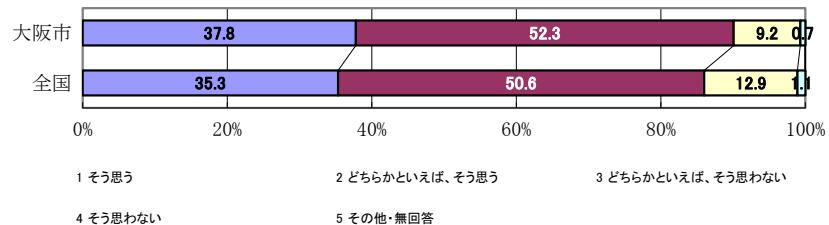
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

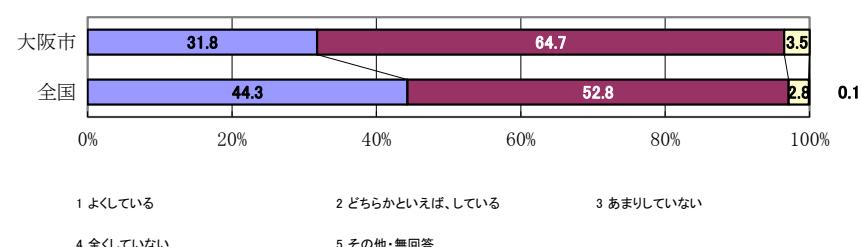


1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない 5 その他・無回答

15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

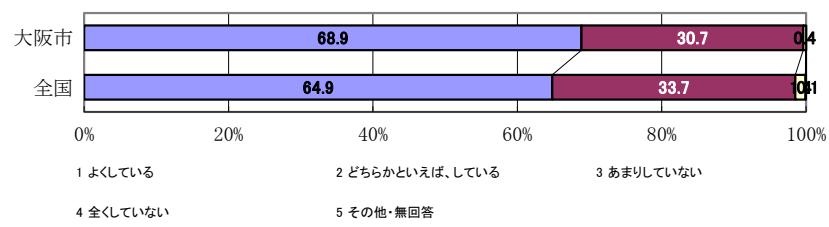


1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない
4 全くしていない 5 その他・無回答

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

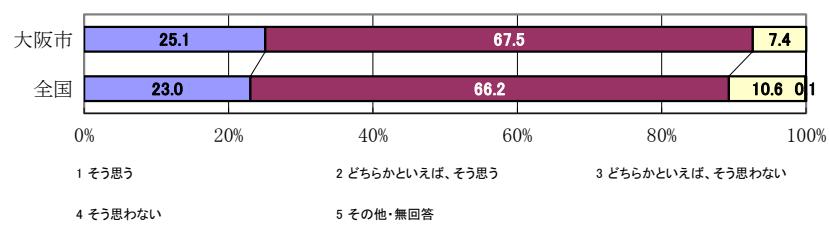


1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない
4 全くしていない 5 その他・無回答

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

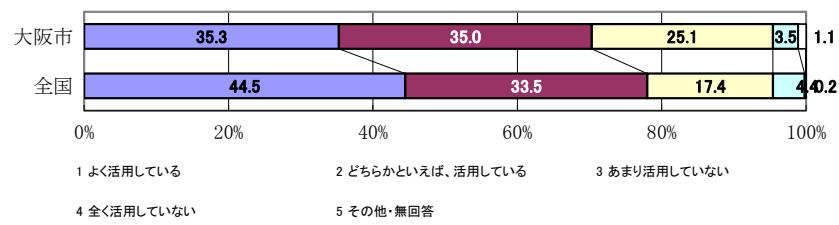


1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない 5 その他・無回答

65

教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか

学校 「よく活用している」を選択



1 よく活用している 2 どちらかといえば、活用している 3 あまり活用していない
4 全く活用していない 5 その他・無回答